

令和4年度
経営発達支援計画 事業評価報告書

岩瀬管内商工会広域連携協議会

須賀川市 鏡石町 天栄村

外部評価の目的

岩瀬管内商工会広域連携協議会（岩瀬商工会、長沼商工会、大東商工会、鏡石町商工会、天栄村商工会）と須賀川市、鏡石町、天栄村は、令和3年3月に経済産業省より「経営発達支援計画」の認定を受けて小規模事業者の持続的発展を支援するための各種事業に取り組んでいる。

本評価は、経営発達支援計画に基づいて実施した事業について、PDCAサイクルによる評価、検証、見直しを行い、次年度以降の各事業に反映させることを目的に行うものである。

事業の実施期間

令和3年4月1日～令和8年3月31日の5年間

経営発達支援事業の目標

- (1)事業計画策定支援による地域内商工業者の経営力強化
- (2)新規創業者を発掘・育成及び事業承継支援によって小規模事業者の減少を抑制
- (3)IT活用支援によるブランド形成・マーケティングの強化

評価基準

- A:実施され効果が見られたもの
- B:実施され効果が期待できるもの
- C:実施されたが効果が見られないもの
- D:実施されなかった、実施されたが回数等が大幅に目標を下回っているもの

評価検討委員

○委員長

鈴木 龍京（税理士・中小企業診断士）

○委員

佐藤 茂吉（岩瀬商工会副会長）

江連 司（長沼商工会理事）

佐藤 成行（大東商工会顧問）

廣瀬 茂（鏡石町商工会副会長）

須賀 道雄（天栄村商工会副会長）

塩田 喜一（須賀川市経済環境部商工課長）

菊地 勝弘（鏡石町産業課長）

黒澤 伸一（天栄村産業課長）

目黒 孝幸（福島県商工会連合会 中通広域指導センター主任主査）

1. 地域の経済動向調査に関すること

●計画概要

国が提供するビッグデータを活用し、地域の経済動向に関する情報の収集を行い分析する。
又、管内小規模事業者の景気動向等について詳細な調査・分析を定期的に行う。調査分析結果は、管内小規模事業者に対して広く公表する。

●実施内容

・地域経済動向調査事業

①国が提供するビッグデータの活用

「REASAS」(地域経済分析システム)を活用し、岩瀬管内の経済動向の分析を行い、年1回公表する。

②中小企業景況動向調査の充実

管内の景気動向等について、より詳細な実態を把握するため、現在行っている全国商工会連合会の「中小企業景況動向調査」に独自の調査項目を追加し、管内小規模事業者の景気動向等について詳細な調査・分析を定期的(四半期ごと)に行う。

【調査対象】管内小規模事業者 15社

(製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業から均等に選定する)

【調査項目】売上額、業況、採算、資金繰り、雇用、設備投資、経営上の問題等

【調査手法】経営指導員等による聴き取り調査

【調査回数】6月・9月、11月、3月の年4回

【集計分析】経営指導員が必要に応じて外部機関と連携し分析を行う。

●目標及び実績

内容	目標	実績
①ビッグデータ活用による地域の経済動向分析の公表回数(回)	1	0
②中小企業景況動向調査公表回数(回)	4	4

●自己評価

▼REASAS による地域経済動向の分析については、REASAS のデータがそれほど更新されていないことから毎年の実施ではなく最新データの更新状況等を踏まえて実施したい。昨年度に分析した資料は事業計画策定支援の際の基礎資料として引き続き活用することができた。景況調査については、計画どおり4回実施することができた。

●評価委員による評価

	A	B	C	D
委員評価	2	8		

●評価委員によるコメント

- ・景況動向調査が計画どおり行われており評価できる。
- ・独自調査項目の追加が必要。
- ・景況調査については、目標どおり調査分析を行っている。
- ・今後も継続してほしい。

▼地域の経済動向調査において、中小企業の景気の良し悪しの実感である景況感の把握を行い、地域全体の景気の流れを把握するために、有用な調査となります。
本年度は RESAS(地域経済分析システム)の活用は行わなかったものの、管内事業者への景況感調査に関して、目標通り実施されており、評価できるものと考えます。

2. 需要動向調査に関すること

●計画概要

より効果的な事業計画策定を行うための基礎データとして活かすため、来店客に対する調査用紙を設置したアンケート調査、又はホームページやSNSを活用したWEB調査を実施する。調査結果は分析した上で支援先にフィードバックすることで、需要を見据えた新商品開発や事業計画策定ができるよう支援する。

●実施内容

・催事でのアンケート調査支援

物産展に出展する事業所に対して需要動向調査を支援した。(1社)

(調査方法)

購入して頂いたお客様にアンケートハガキを渡し返送してもらう形で実施

【分析結果の活用】分析結果は、経営指導員が当該小規模事業者に対し直接説明する形でフィードバックした。

・事業計画策定支援を通じた需要動向分析

事業計画策定支援の際に、市場、商圈、消費者ニーズ等の分析を行い計画策定に活用する。

●目標及び実績

内容		目標	実績
需要動向調査事業者数		50	58
内訳	岩瀬商工会	10	20
	長沼商工会	10	5
	大東商工会	8	3
	鏡石町商工会	14	14
	天栄村商工会	8	16

●自己評価

- ▼昨年度も課題となっていたアンケートによる需要動向調査について、経営支援会議等で実施方法等の検討を行い、件数こそ少なかったが実際に調査を行うことができた。分析結果を事業所にフィードバックし、事業所からも満足して頂くことができた。
- ▼事業計画策定の際に、市場規模、商圈調査、販売データ等から需要動向調査を行い計画策定に活用した。

●評価委員による評価

	A	B	C	D
委員評価	7	3		

●評価委員によるコメント

- ・アンケート調査が 1 件ということは、物足りない気もするが返信率も高かったとのことなので、今後においても回数を増やし、実施を継続してほしい。
- ・WEB 調査を QR コードからできるようにしてほしい。
- ・需要動向調査は必要、今後も続けてほしい。
- ・目標総数は達成しているが、内訳の実績に偏りが見られる。調査の実施方法の変更により目標数を達成し、計画策定に有効に活用できている。
- ・需要動向調査に関することは大きく目標を達せいでいると思います。事業経計画策定のみならず、事業者にとって有益な情報を提供していただければと思います。
- ・コロナ後のアンケート調査等に期待する。

- ▼昨年の需要動向調査は WEB アンケートを計画していたものの、希望者が集まらずに未実施に終わったことから、催事でのアンケート調査において、本年度はアンケートハガキによる調査と手法を変えたことは評価に値すると思います。今後は本年度の結果を活かすため件数が増えることを期待します。

▼事業計画策定支援を通じた需要動向分析については、目標数を上回る成果をあげていること、事業計画という形で分析結果を今後に活用できる効果が期待できると思います。

3. 経営状況の分析に関すること

●計画概要

事業計画策定セミナー等の機会を通じて、予め経営分析が必要な事業者の掘り起こしを行い、経営分析を実施する。分析では、財務内容だけでなく、保有する技術やノウハウ、経営資源等の経営実態を把握する。

●実施内容

・経営分析支援事業

・経営革新計画策定セミナー

開催日 令和4年8月2日(火)

場 所 鏡石町「鏡石町コミュニティーセンター」

受講者 14 事業所(岩瀬 4、長沼 5、大東 2、天栄 3)

講 師 中小企業診断士 綿貫有二 氏

・創業セミナー

開催日 令和4年10月12日(水)、13日(木)、19日(水)、20日(木)、

26日(水)、27日(木) 全6回

場 所 鏡石町「鏡石町コミュニティーセンター」

受講者 19 名

講 師 中小企業診断士・税理士 鈴木龍京 氏

●目標及び実績

内容	目標	実績
セミナー開催回数	1	2

内容	目標	実績	
経営分析件数	100	150	
内訳	岩瀬商工会	20	48
	長沼商工会	20	22
	大東商工会	15	19
	鏡石町商工会	30	33
	天栄村商工会	15	28

●自己評価

- ▼経営革新計画策定セミナー及び創業セミナーを通して、経営分析の重要性を認識してもらい経営支援に繋げることができた。
- ▼事業計画策定および各種補助事業申請の際に経営分析を実施することができた。専門家も活用しながらより丁寧な分析を行うことができています。分析件数においても目標件数を上回るすることができた。

●評価委員による評価

	A	B	C	D
委員評価	9	1		

●評価委員によるコメント

- ・セミナーの開催および経営分析件数も目標を上回っており評価できる。
 - ・プロの支援を受けながら、的確な事業展開がなされていると感じました。
 - ・目標件数を大きく上回ることが出来ている。引き続き分析結果を基に経営支援に繋げていただきたい。
- ▼事業計画策定に必要な経営分析について、財務内容や知的資産の把握に努め、幅広いニーズに応える形で実施されており、評価できるものと考えます。
- ▼また、経営革新計画及び創業セミナーでは、コロナ禍の中、事業者の前向きなマインドの維持・向上に寄与したものと思われまます。

4. 事業計画策定支援に関すること

●計画概要

専門家と連携し、事業計画策定セミナー、個別相談会を実施し「新たな取り組み(経営革新)」に意欲を持つ事業所を発掘し、環境の変化に対応した事業計画の策定を支援する。又、事業承継・創業支援を専門家と連携しながら実施する。

●実施内容

①経営革新計画策定セミナー

- 開催日 令和4年8月2日(火)
- 場所 鏡石町「鏡石町コミュニティーセンター」
- 受講者 14事業所(岩瀬4、長沼5、大東2、天栄3)
- 講師 中小企業診断士 綿貫有二氏

②経営革新計画策定個別相談会

開催日 令和4年9月26日(月)～12月8日(木) 実施回数49回

場所 相談事業所 16社 [個別指導]

内容 経営革新申請における事業計画作成支援 10社【10社申請中】

③創業セミナー

開催日 令和4年10月12日(水)、13日(木)、19日(水)、20日(木)、
26日(水)、27日(木) 全6回

場所 鏡石町「鏡石町コミュニティーセンター」

受講者 19名

内容 既存の創業セミナーに副業やセカンドキャリアを目指す方をターゲットに加えることで、創業を考える潜在的予備軍の掘り起こしを図った。

講師 中小企業診断士・税理士 鈴木龍京氏
(株)ソーシャルスピーカー 久野雅己氏

●目標及び実績

内容		目標	実績
事業計画作成件数		55	85
内訳	岩瀬商工会	11	29
	長沼商工会	11	13
	大東商工会	9	4
	鏡石町商工会	15	19
	天栄村商工会	9	20

内容		目標	実績
創業支援及び創業計画作成件数		10	9
内訳	岩瀬商工会	2	2
	長沼商工会	2	0
	大東商工会	1	0
	鏡石町商工会	3	4
	天栄村商工会	2	3

- ・小規模事業者持続化補助金:10件採択
- ・ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金:2件採択
- ・ふくしま小規模企業者等いきいき支援事業:21件採択
- ・事業再構築補助金:2件採択
- ・その他補助金:2件採択

●自己評価

- ▼毎年、経営革新計画を 10 件程度出している状況にあつて、案件発掘に苦勞する部分もあるが、セミナーの参加者の中から 10 社が経営革新計画策定に取り組み申請に至つた。
- ▼創業セミナーは平日夜間に変更して以降、順調に参加者が集まつており昨年も 15 名と多かつたが今年度は更に参加者が増えて過去最多の参加者となつた。又、今年度は、昨年度と比べて具体的な創業のイメージができている参加者が多かつた。
- ▼補助金の申請支援を通した事業計画策定支援についても積極的に行うことができた。
- ▼天栄村でも本事業による創業セミナーが特定創業支援事業に該当するようになり村独自の創業補助金制度も創設される等、岩瀬管内全体で創業しやすい環境が整備された。

●評価委員による評価

	A	B	C	D
委員評価	9	1		

●評価委員によるコメント

- ・概ね目標を達成しており、セミナーを夜間に開催し参加者を増やしていることなど工夫がみられる。今後も相談会を適宜実施し効果的な支援を行つて欲しい。
- ・持続化補助金を知ってもらふ為、PRに務めて欲しい。
- ・経営革新申請者が多く良かつた。また、創業セミナーの参加者が多くなり期待できる。
- ・創業・起業は「職業選択のひとつ」。まさにそう言える時代になつたと思います。岩瀬管内全体で創業の機運が高まっていることを、大変うれしく思います。
- ・創業セミナーの実施方法を見直すことにより過去最多の参加者数となつた。補助採択を数多く受けていることから事業の有効性がある。
- ・創業セミナー参加者が増えたことは評価できる。廃業者が増えていく中で創業や事業承継はより力を入れていく必要があると思われまふ。
- ・目標を上回つており、継続してほしい。

▼事業計画策定支援に関しては専門家と連携することで、より効果的な支援を行うことができていると考えまふ。特に経営革新計画は毎年大きな成果を上げており、当地域支援の強みとして定着しています。

▼創業支援においては、新たな潜在的創業希望者の発掘のために、例年通り平日夜間に開催されましたが、昨年と比較するとより具体化した段階で参加する受講生も多く、地域における創業環境の整備を窺い知ることができます。

5. 事業計画策定後の実施支援に関すること

●計画概要

事業計画策定後に、定期的にフォローアップを行い計画の進捗状況の確認を行う。その際に計画実行のための課題を抽出し支援策を検討する。支援にあたっては、専門家も活用しながら計画を次の段階へ進められるよう支援を行う。

●実施内容

①経営革新承認企業計画実行支援事業

・経営革新承認企業フォローアップセミナー

開催日 令和4年12月1日(木)

場 所 長沼商工会館

受講者 11事業所(岩瀬1、長沼7、鏡石1、天栄2)

講 師 中小企業診断士 綿貫有二氏

②創業支援のフォローアップ

創業者については、各支援分野においてきめ細かな計画策定の支援を行いながら開業及び開業後の安定経営に向けてフォローアップを行った。また、補助金の活用等について情報提供を行った。又、これまでの創業セミナー参加者に対してアンケート調査を実施した。

●目標及び実績

内容		目標	実績
事業計画策定後のフォローアップ事業者数(社)		65	59
内訳	岩瀬商工会	13	17
	長沼商工会	13	11
	大東商工会	10	2
	鏡石町商工会	18	19
	天栄村商工会	11	10

内容		目標	実績
事業計画策定後のフォローアップ延件数		325	214
内訳	岩瀬商工会	65	22
	長沼商工会	65	59
	大東商工会	50	5
	鏡石町商工会	90	96
	天栄村商工会	55	32

内容		目標	実績
事業計画策定後の売上増加企業数		20	33
内訳	岩瀬商工会	4	15
	長沼商工会	4	6
	大東商工会	3	0
	鏡石町商工会	6	4
	天栄村商工会	3	8

●自己評価

- ▼フォローアップ企業数は目標未達であったが、昨年より件数を増加させることができた。今年度もコロナ禍ということもありフォローアップ延件数は214件と若干減少したが、丁寧且つ効果的なフォローアップ支援を行うことができた。(支援件数:昨年延230件)(支援企業数:昨年43社)
- ▼事業計画策定による売上増加企業数も昨年より増加しており、目に見える成果に繋がっている。
- ▼伴走型補助金を活用した専門家によるフォローアップ個別相談が例年のようにできなかったことも減少の要因となった。
- ▼創業者のフォローアップでは、今年度の創業セミナーの参加者の他、昨年度以前の参加者についても巡回訪問等を通して商工会が実施する各種セミナーの参加勧奨を行うなど継続した支援を行った。

●評価委員による評価

	A	B	C	D
委員評価	3	7		

●評価委員によるコメント

- ・フォローアップの目標が未達であったのは少し残念だが売上増加企業が増えていることは評価できる。
- ・今後も丁寧にフォローアップ支援をお願いします。
- ・コロナ禍での売上増加企業が増えてよかった。その他は目標を下回る数値だったのが残念。
- ・不安定な状況の中でよくやってくださったと思います。創業者のフォローアップ、伴走型の支援など商工会さんが普段から標榜されていることを、その言葉どおりに実践されているのがよく分かりました。
- ・コロナ禍の中ではあるが、件数を増加させることができているが、実績の内訳に偏りが見られる。
- ・フォローアップ後の売上増加企業数が前年より増加したことは評価できる。創業者のフォローア

ップについては、事業基盤が不安定な創業者に寄り添った支援になっていると思います。
・数は目標以上だが内容の方が大切。続けてほしい。

▼セミナー参加者等の経営革新計画や創業意欲を維持するため、フォローアップは大変重要な意義を持ちます。本取組における充実したフォローアップは当地域商工会の特徴でもあります。本年度は、1人1人に対してより深く支援を行ったと考えます。

▼また、事業計画策定後に売上が増加した企業も多く、計画策定が効果的であることを示す結果となりました。

6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること

●計画概要

ITを活用した販路開拓を支援し、ブランド形成・マーケティングの強化を図る。また、ECサイトへの出品や商談会への出展についても支援し、新規取引先開拓を図る。

●実施内容

①ITを活用した販路開拓(BtoC)

(1) 自社に合わせたSNS運用方法発見研修

開催日 令和4年10月7日(金) 場所 長沼商工会館

参加者 11名(長沼4、鏡石4、天栄3)

講師 グローカルマーケティング(株) 藤井俊介氏

(2) SNS活用個別相談会 実施回数 16回

開催日(1回目)令和4年10月25日(火)-27日(木)

(2回目)令和4年11月14日(月)-16日(水)

場所 各商工会及び相談事業所

相談者 8社(長沼4、鏡石2、大東1、天栄1)

内容 マーケティングを意識したSNS活用について

②商談会等を活用した販路開拓(BtoB)

ECサイトへの出品や商談会への出展について情報提供を行った。

●目標及び実績

内容		目標	実績
ECサイト出品企業数		7	7
内訳	岩瀬商工会	1	0
	長沼商工会	1	2

	大東商工会	1	0
	鏡石町商工会	3	4
	天栄村商工会	1	1
売上額／社		10万円	2

内容		目標	実績
商談会参加企業数		7	1
内訳	岩瀬商工会	1	0
	長沼商工会	1	0
	大東商工会	1	0
	鏡石町商工会	3	1
	天栄村商工会	1	0
新規取引先開拓件数／社		1	0

●自己評価

- ▼商談会や物産展出店については、元々参加の少ない地域だったがコロナ禍ということもあり支援要望が少なかった。引き続き商談会等の情報提供を行っていききたい。
- ▼SNS 個別相談については、これまで導入支援を中心に行ってきたが、より売上増加に繋がるようなウェブマーケティングを意識した SNS 活用支援を行ってきた。
- ▼今年度のセミナーは既に SNS を利用している中級者向けの位置づけで実施したこともあり例年より参加者が少なかった。近年「SNS活用」をテーマに毎年セミナーを行ってきた。講師を変えたり内容を工夫したりしてきたが、少し飽きがきている印象もある。来年度はWEB広告、DXなど別のテーマでのIT活用についてセミナーを検討していきたい。

●評価委員による評価

	A	B	C	D
委員評価	1	5	4	

●評価委員によるコメント

- ・コロナ禍において SNS や EC サイトの活用は売上等を伸ばす有効なツールであると思うので、今後も IT の活用について勧めて欲しい。
- ・SNS の支援件数が多く負担が増えるのではないかと。ECサイト出品や商談会展出に力を入れはどうか。
- ・SNS は大事な事だと思いますが、飽きがこないようなセミナーを実施した方が良いと思う。目標に対しての実績が少ない。

- ・企業のビジネスにおいて、WEB による情報発信だけではなく、「リーチ力」が格段に優れている SNS を活用していくことが今後、重要になると考えます。
- ・コロナの影響により IT を活用した販路拡大や EC サイトは益々有効性が増すと思われる。引き続き売上増加に繋がるような活用支援をしていただきたい。
- ・自己評価にもあるように、IT を活用した販路開拓においては、マーケティングが極めて重要かと思えます。すぐに成果が目に見えるわけではないので、継続した支援が必要かと思えます。
- ・コロナ後は展示会等、状況が変わるはず。今後に期待したい。

▼新たな需要開拓に向けて、IT ツールの活用は必須であり、SNS 等、活用の幅を広げることは重要と考えます。その中で、SNS 運用、活用といった特化したテーマによる研修、相談会は相談者の参加を誘引したものと考えます

▼事業者が外部の反応を確かめるという目的で販路開拓支援は重要だと考えます。今年は EC サイト、商談会共に販路開拓が行われ、そこで得た経験を基に、新たな商品開発や商品改良に取り組んで頂くことを期待します。

7. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること

●計画概要

外部有識者(中小企業診断士等)、市町村担当者、岩瀬管内 5 商工会から選出された事業者代表、福島県商工会連合会、法定経営指導員で構成する「評価検討委員会」を毎年度 1 回以上開催する。委員会では、経営発達支援事業の実施状況、成果について評価・検証を行う。評価・検証の結果は、各商工会の理事会等で報告する他、岩瀬商工会のホームページで公開する。

●実施内容

①評価検討委員会の開催

(1)経営発達支援計画評価検討委員会

日 時 令和 5 年 2 月 16 日(木)

場 所 岩瀬商工会館

内 容 令和 4 年度 経営発達支援事業の実施報告について

令和 5 年度 経営発達支援計画に基づく事業(案)の骨子について

●自己評価

▼評価検討委員会を開催し、経営発達支援事業の実施状況、成果について評価・検証をして頂くことができた。また、商工会の取り組みを商工会役員や行政機関に理解して頂く良い機会となっている。

●評価委員による評価

	A	B	C	D
委員評価	7	3		

●評価委員によるコメント

- ・実施されている
- ・年2回は必要です(中間報告を含む)
- ・評価することはいい事である。
- ・はじめて委員として参加させていただきましたが、様々な取り組み状況を知ることができたいへん勉強になりました。
- ・委員会での意見交換を踏まえ次年度の経営支援に繋げていただきたい。

▼評価検討委員会は、経営発達支援事業の理解に向けた取組みとして多くの知見を共有することに繋がるものと思います。本委員会においては、事業者からの要望を行政機関に伝える事や、様々な支援施策を事業者伝える等、相互にとって有用な機会となっており、商工会はその施策を直接的に事業者へ伝え、支援するという役割を十分に担っているものと思われます。

8. 経営指導員等の資質向上に関すること

●計画概要

小規模事業者の経営発達に資するために、経営指導員及び経営支援員の資質向上を図る必要がある。経営分析や事業計画作成、コミュニケーションスキルなど支援ノウハウを習得し、共有することで実効性のある経営支援に取り組める環境整備を行う。

●実施内容

①職員向け研修会受講による資質向上

- ・中小企業支援担当者研修専門課程
「小規模・超小規模M&Aによる事業承継支援の進め方」8/4.23(WEB)
- ・経営支援能力強化研修会 7/20(二本松市男女共生センター)
- ・経営支援能力強化研修会Ⅱ 10/17(ホテル華の湯)
- ・岩瀬管内職員向け「インボイスセミナー」10/6(岩瀬商工会)
- ・岩瀬管内職員向け「DXセミナー」1/24(岩瀬商工会)
- ・全国連「事業継続力強化支援会議」1/27(WEB)

②情報共有による資質向上

専門家による個別相談の際には、必ず経営指導員及び経営支援員が同席し支援することで、実

務を通じて専門家の高度なノウハウやスキルを学ぶ機会とした。又、管内経営指導員による経営支援会議の際、支援ノウハウの共有を図った。(経営支援会議 5 回開催)

●自己評価

- ▼福島県商工会連合会主催のセミナー等に積極的に参加し、支援ノウハウの習得に努めた。
- ▼経営支援会議、業務管理会議を定期的に行い、ノウハウの共有を図ることができた。
- ▼専門家の個別相談に同席し共に支援することで、専門家の高度な支援ノウハウを学ぶことができた。
- ▼職員向けにインボイスセミナーやDXセミナーを開催し資質向上を図った。

●評価委員による評価

	A	B	C	D
委員評価	8	2		

●評価委員によるコメント

- ・様々な研修を行うことにより、より実践的な経営指を今後も続けていただきたい。
 - ・多くの研修に参加し資質の向上を目指して欲しい。会員向けセミナーを更に開催して欲しい。
 - ・時代は大きく変革し「リスクリング」が重要になってきました。更なるスキル UP に向けた取り組みをお願いします。
 - ・情報共有や研修会受講によりスキルアップに努めている。
 - ・引き続き社会情勢や国の法律。施策に対応する為はそのノウハウを獲得することで支援に活かして頂きたい。
- ▼本取組は、他の支援機関との連携、経営指導員、経営支援員のスキル向上を目的として、実践的な支援を通して様々な知識、手法の習得を行ったものと思われます。
- ▼実施内容についても M&A、インボイス、DX、BCP とより時代に適合した実践的なものであり、取組成果を事業者及び地域に還元し、地域経済を支える存在を高めることを期待します。

9. 他の支援機関と連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること

●計画概要

小規模事業者の支援を推進するため、他の支援機関との連携により、効果的な支援の実施及び支援ノウハウの共有を図る。

●実施内容

①小規模事業者経営改善資金貸付推薦団体連絡協議会

日時:令和4年11月15日(火)

内容:日本政策金融公庫が主催。郡山支店管内の経済状況や金融動向、近隣各地区の景況等の情報交換を行うことで連携を密にし、事業計画作成スキルの向上と円滑な資金繰り、融資支援のノウハウ等の共有を図った。

②小企業者記帳指導協議会

日時:令和5年1月16日(月)

場所:須賀川市民温泉2階会議室

内容:須賀川税務署、東北税理士会須賀川支部との連携により、管内の景況等の情報交換を行う他、税務支援のノウハウの共有を図った。

●自己評価

▼金融機関や税務署、税理士会との連携により情報交換、支援ノウハウの共有を図ることができた。

●評価委員による評価

	A	B	C	D
委員評価	7	3		

●評価委員によるコメント

- ・関係機関との連携を図ることは事業者に対しても有効な指導ができると思われることから実践的な連携を推進して欲しい。
- ・各団体との連携は大事である。
- ・他の支援機関と連携し情報交換を図っている。

▼様々な支援機関と連携を図り、一体として事業者支援を行うことは大変重要なことと思われまます。特に資金貸付といった協議会により、事業者の生の声やスキルの共有を図り、より効果的な連携体制を構築することは有用と思われまます。

10. 地域経済の活性化に資する取組に関すること

●計画概要

須賀川市・天栄村・鏡石町各行政や地域経済関連団体等との懇談を通して、岩瀬地域の活性化

に関する事業提案や方向性の検討を行う。

●実施内容

・岩瀬管内市町村長と商工会長等との懇談会

日時:令和4年12月16日(金)

場所:鏡石館

内容:経営発達支援計画に基づく事業の推進について首長と懇談を行った。

●自己評価

▼市町村長等との懇談会では、経営発達支援計画に基づく事業の推進や地域の課題解決に向けて有意義な懇談を行うことができた。支援事例や各行政の支援メニューなどについての報告もありノウハウの共有の部分でも有効だった。又、日頃から須賀川市・天栄村・鏡石町各行政と担当者レベルでの連携を密にとりながら事業を行うことができた。

●評価委員による評価

	A	B	C	D
委員評価	7	2	1	

●評価委員によるコメント

- ・市町村長と商工会長等との意見の擦り合わせは地域振興を進めるのにも有効と考える。担当者レベルでの意見交換などがあっても良いのではないかと。
- ・創業セミナー参加者や創業したい方が参加してもおもしろいと思います。
- ・市町村長との懇談会は大変重要です。
- ・懇談会では、地元の課題や問題に関して、赤裸々に意見を交換することができ、たいへん勉強になりました。
- ・行政との情報交換を実施することにより、商工会との連携が深まり有意義だと思われる。

▼市町村長と商工会長等との連携体制の構築と発展は、地域活性化実現に向けて大変重要なポイントとなります。我が国や地域における課題解決に寄与するものと思われま。

●全体的な感想・意見

- ・経営発達支援計画に基づき、概ね目標が達成されているように感じました。今後も実情に併せてブラッシュアップしていただき地域経済の振興に寄与していただきたい。
- ・次年度以降も事業者発展に向けた幅広く深い支援が行われることを期待いたします。
- ・経営計画の策定はもちろん実行を含めたフォローアップも積極的に行っていただく。
- ・一部見直すべきところがあると感じましたが全体的に効果があり期待できるものが多かった。
- ・今後も継続して事業内容を高めていってほしい。中間報告もあればその後に対応できるのでは

ないか。

- ・コロナ禍での事業を進めるのは厳しかったが、引き続き頑張っていて欲しい。目標以上の成果が上がるよう期待する。指導員の更なるスキルアップ期待します。
- ・地域の課題に目線をおいて継続的且つ計画的に各種事業を展開されていることが分かりました。引き続き、支援をお願いしたい。
- ・支援計画の目標達成に向けて努力が見受けられる。引き続き事業支援に努めていただきたい。
- ・今後も経営発達支援計画の事業実施により管内事業者の支援に注力をして頂ければと思います。さらに実績件数はもちろんのこと、その内容や成果に重点を置いた支援を期待しています。
- ・おおむね計画通り実施されている。事業によってはそれ以上であり今後も継続してもらいたい。

●評価委員長総括

▼本年度も多岐にわたる様々な事業を通じ、地域の小規模事業者の持続・発展に寄与してきました。また、支援の運営、実行を行うことや時代に即した研修により、経営指導員、経営支援員のスキルアップも行われてきたと思われま。

さらには引き続き地域振興を行政機関と連携して行うことで、地域課題の包括的な把握や共有の役割も果たしてきました。

▼その一方で、諸経費の高騰が価格に転化できない等、厳しい環境下が続き、支援内容の複雑性への対応も重要なものとなってきます。

▼このような厳しい社会環境の中で、経営発達支援計画における事業遂行は今後の事業者支援、地域振興において商工会の存在感が幅広く捉えられる機会となっています。

次年度も様々な事業を通して地域にとってなくてはならない、より魅力的な商工会として成長を続けることを期待します。